CLAMP

4

ちょびっツ

Chobits

9784063344837

雑誌 46318-83

ISBN4-06-334483-5

C9979 ¥505E (0)

講談社／定価：本体505円(税別)

1929979005054

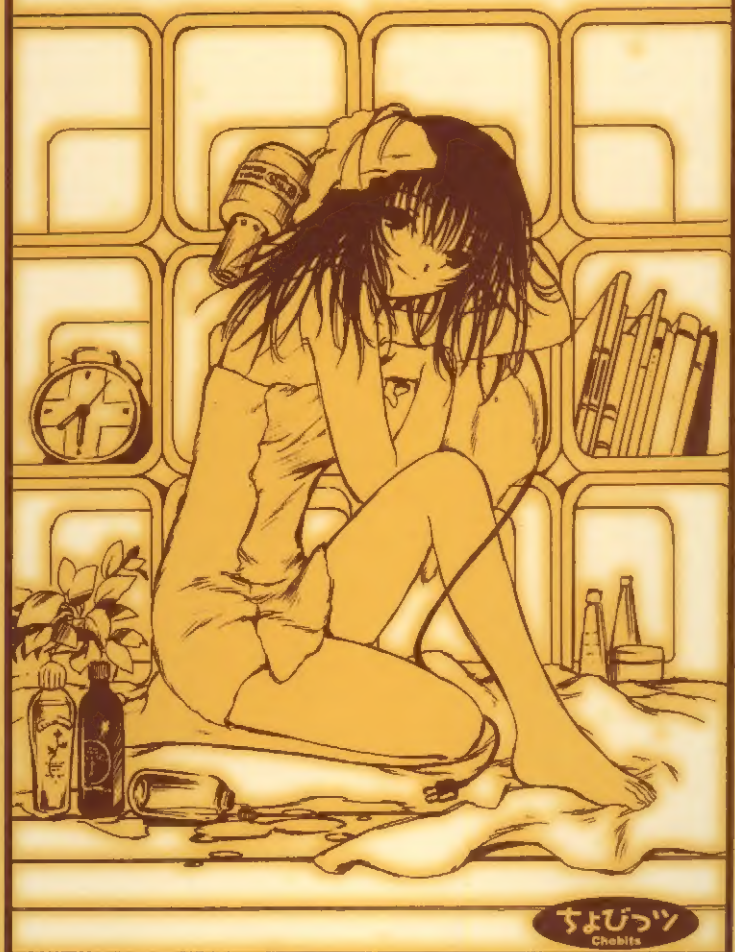
「だから、ちぃ。この名前……好き」

国分寺のもとへ送られてきた
差出人不明のメールの添付画像に
『ちぃ』らしきパソコンと
日比谷さんが映っていた。
なぜ管理人さんが？
差出人の目的は何なのか？
そして、ちぃを追う二人組、
ディタとジーマとはいったい!?
ちぃの周りに漂う不穏な気配に
不安を抱く一方で、秀樹は
パソコンが人型をしていることに
疑問を抱き始める——。

◀ 4 ▶

ちょびっツ
Chobits

Illustration by CLAMP ©CLAMP/ KODANSHA



◀ 4 ▶

◀ CLAMP ▶

SATSUKI IGARASHI
NANASE OHKAWA
MICK NEKOI
MOKONA APAPA

◀ Book design ▶
CLAMP

でも
アタシには
かなえられない
ユメが
ひとつだけある
アタシがそのユメを
かなえたら
アタシは
アタシだけの
ヒトと
サヨナラしなきゃいけない

ちょびっツ
Chobits
chapter.37

サヨナラ……
しなきゃいけない……
そう
もう二度と
会えなくなる

サヨナラって?
そばにいられないこと
そばにいられないって?
会えないこと
会えない
いっしょにいられない
それがサヨナラ?

この絵本は、
アナタと
アタシのこと
アタシとアナタの
過去と現在のこと
ね
ち、
のこと、
だから
この絵本を見ると
ちいのココが
痛くなるの

ちぃちゃ――ん

そろそろ
休憩時間
終わりだけど
大丈夫かな？
ど…どうか
しましたか？
「サヨナラ」
って
いっしょにいられない
ことだって
え？
サヨナラって
手 見たり
書ったりすると
ちぃ
ここが
ぎゅってなる
すごく すごく
ぎゅってなる

そうですね
「さよなら」って
痛い言葉ですから
痛い？
ケガしたの？
体がじゃなくて
心がね
心……
店長も「サヨナラ」
言ったことある？
言われたことは
……ありますよ
最近……ね

すみませ――ん
ケーキ 欲しいん
ですけど――
…
大丈夫ですか
ちぃちゃん
もう少し休むか
本須和君に
連絡しましょうか
ちぃ
大丈夫
ほんとうに？
じゃ 先
行ってますね
ちぃ
すぐ行く

……サヨナラは
そばにいられないこと
サヨナラは
こころがイタイこと

喫茶屋 ろくんて
おーい じゃーな
んじゃ お先に 失礼しまーす！
裕美ちゃん
うん 早番だったからさ 裕美ちゃんは？
あたしは あともうちょっと あるんです
先輩 もう上がりですか？
あ・・・ あの

良かったら
一緒に
帰りませんか
おいしいケーキが
あるカフェ
見つけたんです
すっげー
行きたいけど
今日はちょっと
用があるんだよ
ほんと
ごめんな
あ！
いいんです！
急に言った
あたしが悪いから！
それにあたし
かわえ――！
あたしのほうこそ
ごめんなさい
ほんとに
かわいいよ
裕美ちゃん！

用事ってすぐ近くですか？
うん割と近いよ
『チロル』に行くだけだから
『チロル』って…ケーキ屋さんの…？
そうそうそこでちぃが今バイトしてんだよ
先輩の…パソコンですか
「ちぃ」って…
うん急にバイトしたいって言いだしてさ
知らないとこじゃ心配だから
前オレがやってたとこに頼んだんだよ

裕美ちゃん？
どうした？
ひきとめちゃって
ごめんなさい
じゃ
また明日
ぱっ
あ…
う…
うん
ぽよろ
ぱたぱた
ぱた
……？

なんか 裕美ちゃん
様子が変だったなぁ
ちぃのバイトの話したとき
「いる」ですよ パソコンは
人間よりずっとずっといいから
人間の側にいるの
だから 人間の側に
人間はいられなく
なっちゃう
裕美ちゃん
やっぱ なんか
あったんだな
パソコンのことで
それも
あんま
楽しくない
ことのほうが
おっと
こんばんは
本須和君
こんばんは
ちぃの
バイトの時間
そろそろ
終わりかなと
思って

おむかえですか
や…なんか保育園にむかえに来る父親みたいですけど…
秀樹！
ぱたぱた
本須和君むかえに来てくれたんですって
一緒に帰ろうと思ってさ
むかえ？
いっしょ！秀樹といっしょ！
ご苦労様着替えてきてくださいね
うん！

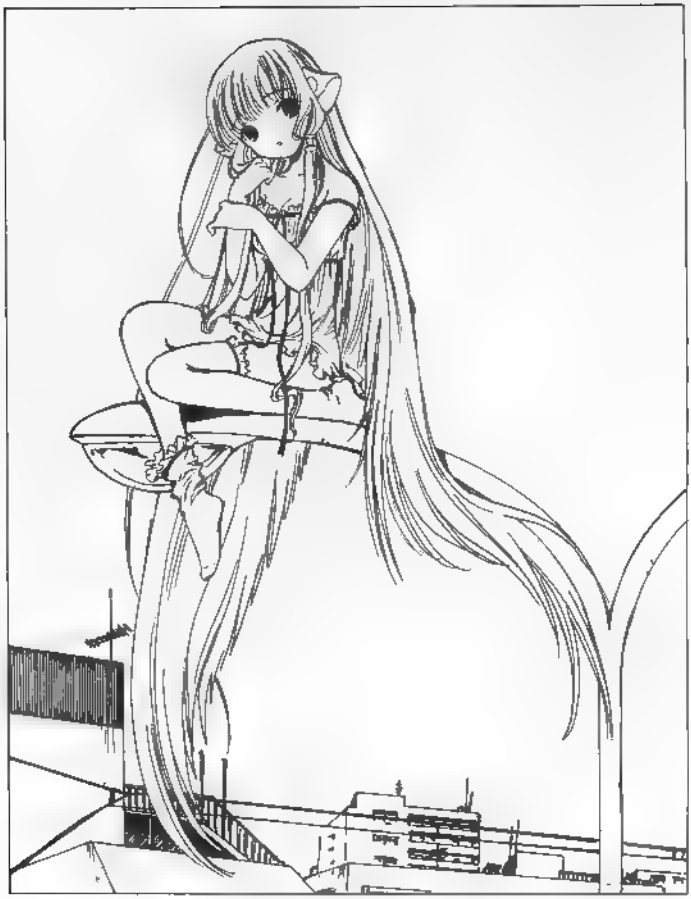
ちぃちゃん 本当に
嬉しそうですね
本須和君が
来てくれて
あぁ
なんつうか
そ…そうだ
ちぃ
どうですか?
変なこととか
してませんか?!
すごく
頭張ってくれてますよ
飲み込みも早いし
でも
ちぃを雇って
もらうまで
店長一人だったん
ですよね
すみません!
オレが予備校の
授業の都合で
昼来れなくなっちまった
から!
ぶんぶん
気にしないで!
来てもらってた時 本当に助かったし
勉強のほうが大事ですよ
本須和君 受験生なんだから

それに本須和君が辞めたあとすぐ新しい子が決まったんですよ
どんな子だったんですか
・・・いい子でしたよすごく
でも僕のせいで・・・辞めてしまったんです・・・・
店長・・・・

秀樹！
あ
ご苦労様でした
じゃ
また明日
また明日
じゃ・じゃあ
なんか
今日は
植田店長も変だったぞ
裕美ちゃんといい店長といいオレの聞き方が悪いんかなあ

秀樹
てくてく
あ？
うんうん
うなってる
具合
悪い？
ちがう ちがう
なんでもないよ！
ちいにまで心配させて
どうするんだ オレ
平気？
平気 平気！
って
心配とかって
いうのも
違うんだよな
ちいはパソコン
なんだから
それも
プログラム
なんだよな
なんか それって…

chapter.37 end

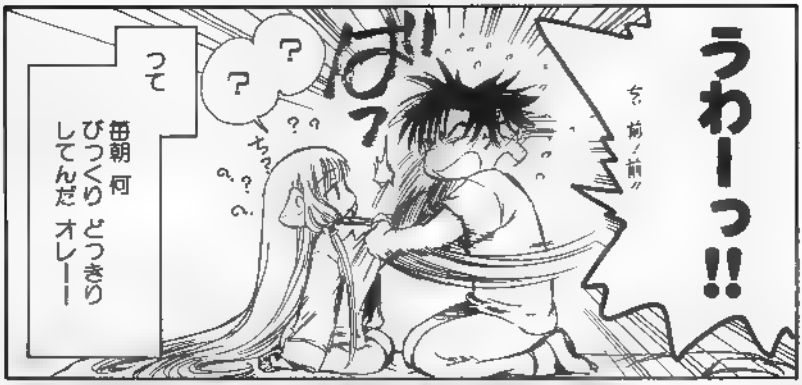


ちょびっツ
Chobits

◀chapter.38▶

チチチ
チュンチュン
朝でーす！
マスター！
朝でーす！

ぶうん
あ——
もうそんな時間か——
ぶもーん
秀樹おはよう
おくう
おはよ——
ちい
しる


うわーっ!!
今、前ノ前ノ
ぱっ?
?
?
って
毎朝何
びっくり どっきり
してんだ オレー!

さぁマスター
すももといっしょに
おめざ体操を
しちゃいましょ——!
ピッピッピッピッピッ
うおおー
無意味にビートを。
相手は
パソコン
なんだー
だから あの胸は
ウソ胸なんだよ!!

けど
ほんわ
はぁ!!
マスター!
ハリキってます
ね――!
はい!
次
足の運動――!!
おおおお
ごごごごん
ぼん

じゃ
行ってくるよ
行ってらっしゃい
今日もバイトだよな
ちぃ
うん
今日のバイト遅番だから迎えに行けないけど
気を付けてな
気をつける？
なにを？
何を気を付ければいいのか
オレもよく分かんないんだけどな
なんか オレとちぃ
誰かに見られてる
みたいなんだよ

どういう?
それがよく分かんねぇんだけど
前 見せたメールの添付画像あっただろ
管理人さんと一緒に写ってた
稔君が
あれはオレに見せたくて送ったもんだろって
誰が?
それが一番わかんねぇんだよ
あのメールの画像のこと管理人さんに聞ければいいんだけど
管理人さんとはまだ会えてないし

なんかあるのかな
ちぃに
うーん
ちぃに？
オレはただの
予備校生だからな
浪人中の
こんな手間をかけたことが
しても何もならんし
なんかあるとしたら
ちぃだろ
わからない
なんも覚えて
ないんだもんな
ぽいぽろ
なんで
捨てられてたん
だろ
あんなとこに
それに…
ちぃの前の持ち主は
どんな人だったん
だろうな

：ちぃ
わからない
ごめん
どうして
ごめんね
ちぃ
なんか痛そう
だから
イタイ……

ここがイタイ……

……秀樹……

おでかけ時間
で――す！
ばびゅっとお家から
飛び出しましょう
です――！
どっきどっき
や！
あの
とにかく！
気を付けてな！
変なヤツとかいたら
ダッシュな!!
ダーン

秀樹……
なに抱きしめてんだよ！オレ！
ガーン
でも　でも…
ちいがなんかあんまりその夢げつつうか辛そうつつうか！
でー　つい!!
♪かなめ！はしれ！光通信より♪はやく！♪

◀chapter.38▶end

ちょびっツ

Chobits

◀chapter.39▶

TBK
TBK
TBK
なんか
人間どうしで
歩いてるの
見るほうが
めずらしいんだな
パソコンと
いっしょの人
ばっかだ
って
どこ
行くんだよ
本須和

や！
あの！
ちょっと
まわり一周して
ゴミ落ちてないか
見てこようかな――！
とか！
居酒屋
ようこそ
すたすた
とか
思ってなくて
通りすぎちまったんだろ
単に
……はい
パート
大勇知
ぎゅっ
お前まで
休まれたら
泣くしかないぞ
俺
誰か 休みなんすか？

大村がな――
裕美ちゃんつすか？
さっき電話があって
今日 休ませてくれって
病気かなんかっすか？
分からんのよ
けど
なんか元気のない声だったなぁ
裕美ちゃん
どうしたんだろ

これ 先週
何ケース仕入れたん
だったかな——
お
ちょうど
良かった
これ
何ケース
仕入れたかな
14ケースですよ
お——!
そうだったか
ありがとな!
んじゃ
この伝票も
入力頼むわ!
よろこんで!!

店長
教えたんすか？
「よろこんで！」
違うんだよ——
自分で覚えたの
ああ言ったら
俺が喜ぶと思った
みたいだよ
よし！
そろそろ
開店だ——！
相手が
喜ぶことを……か
これで
秀樹の欲しいもの
買える？

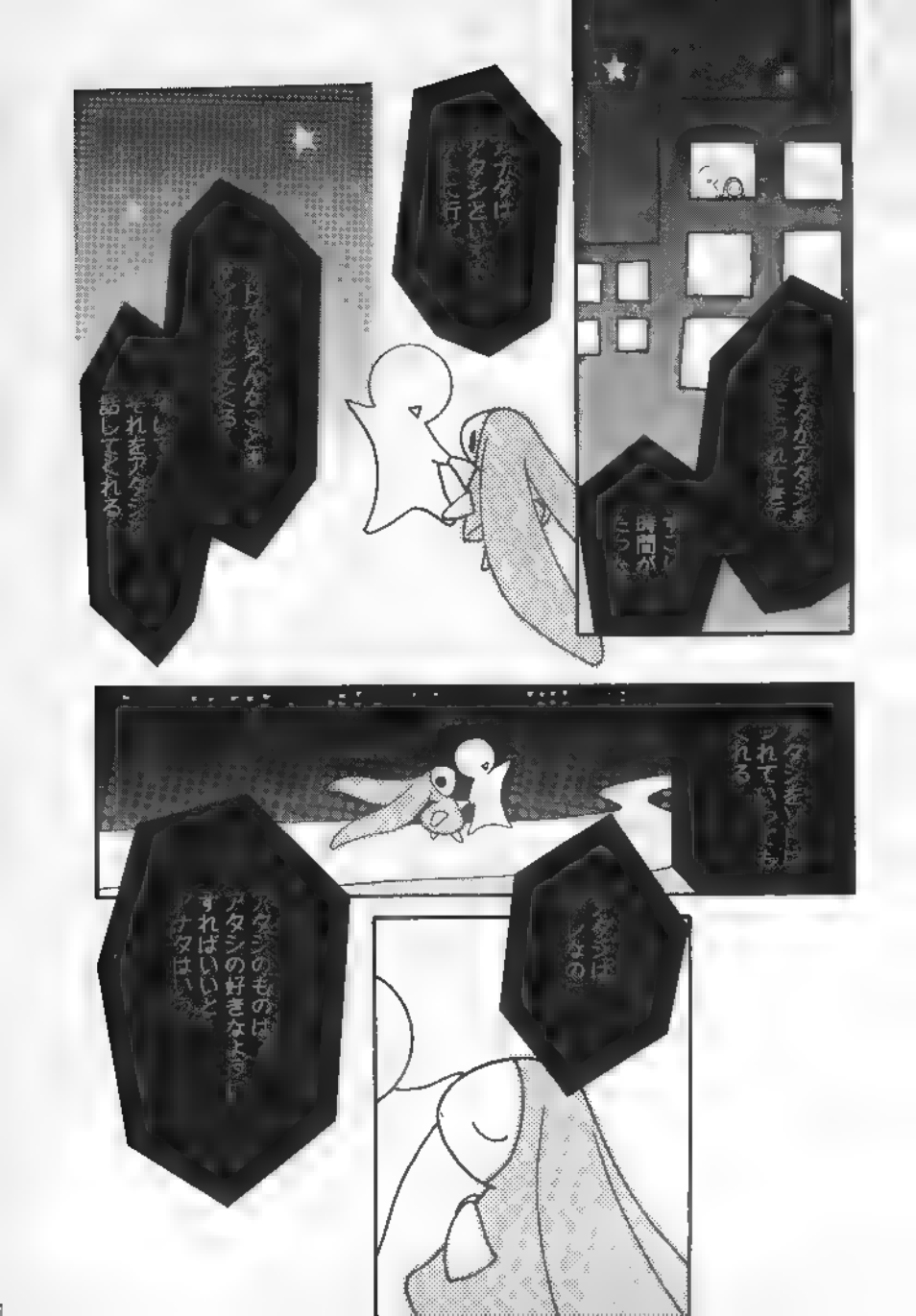
でも　やっぱりそれも
プログラムなんだよな
店長のパソコンも
ちいも
あの
ちいの笑顔も
痛そうな
顔も
ぜんぶ
だとしたら
やっぱ
違うよ
うまく
言えない
けど…
オレ
パソコンは便利で
なんでも出来ると
思ってた
確かにそうだけど
でも
便利すぎつうか
都合良すぎるつうか…

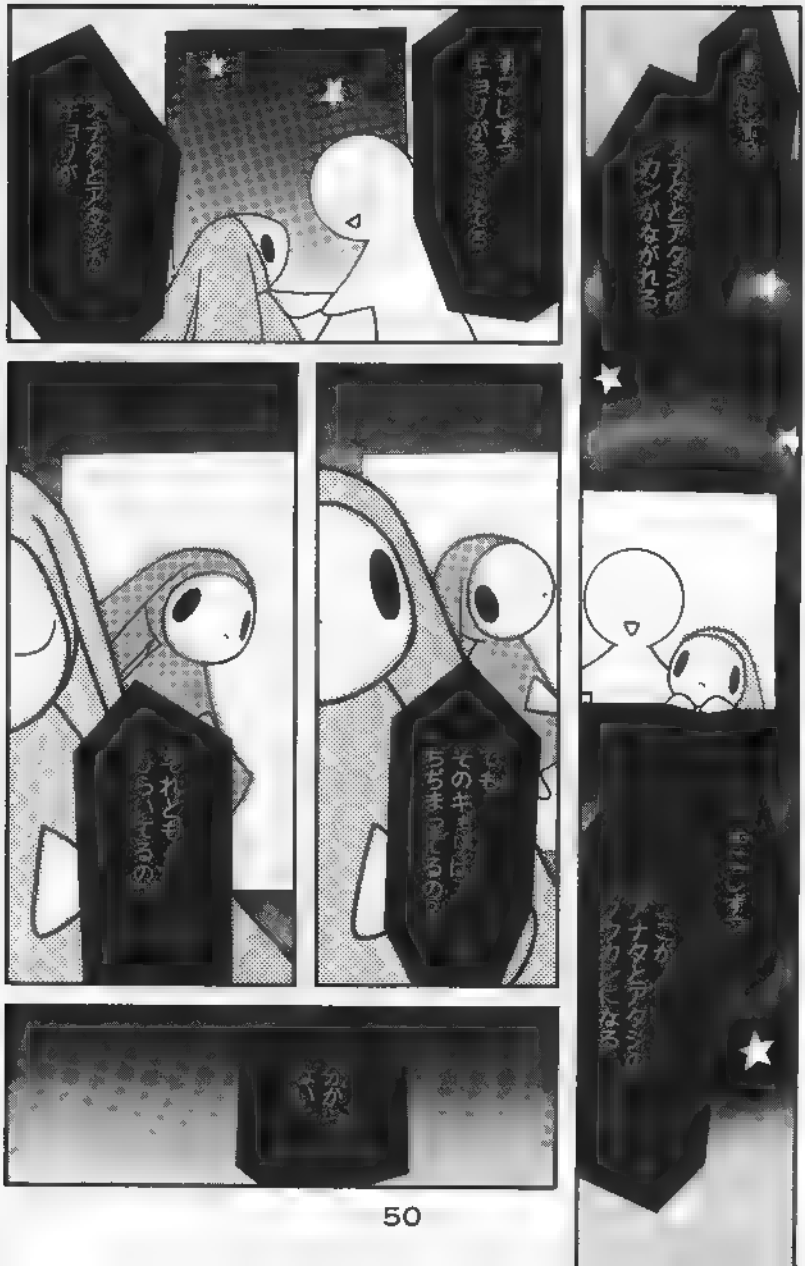
やっぱり　それって
人間とは違う
ちいは
可愛い
すげ――
可愛い
けど
人間じゃない
でも…　オレ
ちいを見てると
ドキドキするし
にこにこしちまう
ちいのこと家電だって
裕美ちゃんに前　言ったけど
電気炊飯器とか冷蔵庫見て
ドキドキはしない

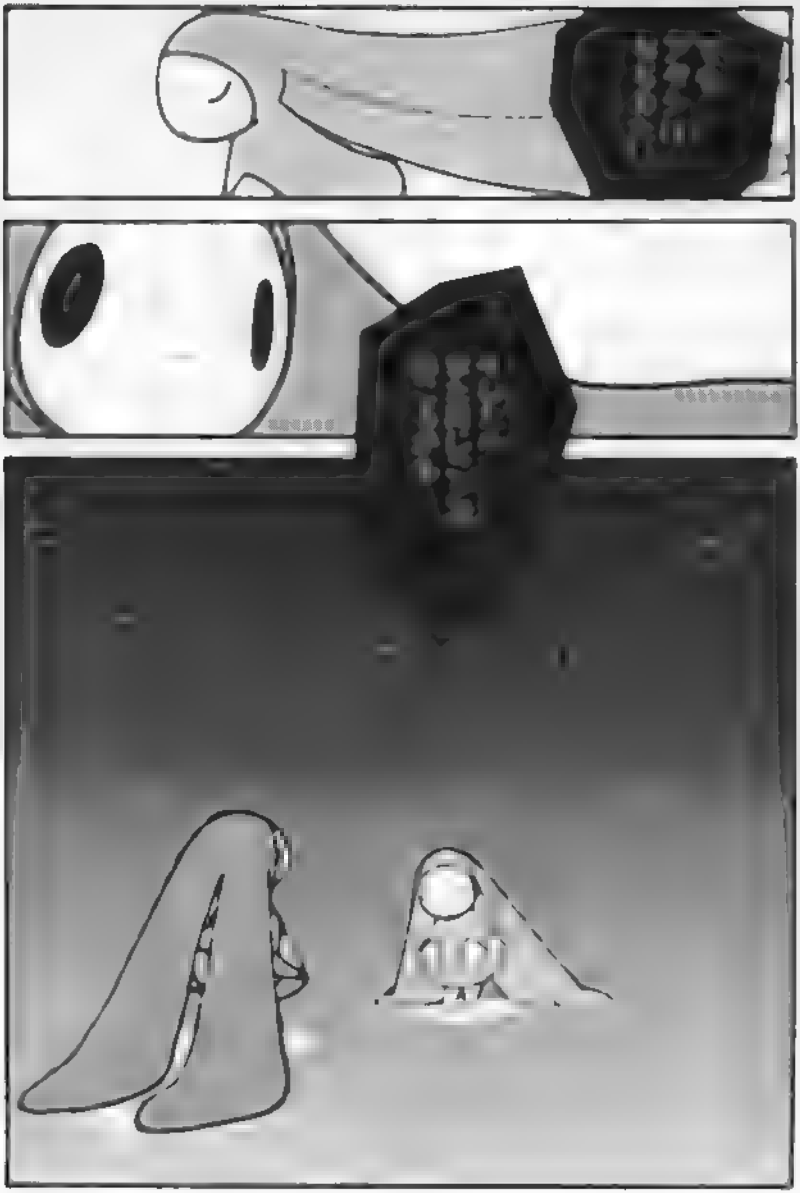
ちぃは
パソコンだ
人間じゃ
ないって
わかってる
けど……
ただの機械の
かたまりとは
思えなくなってる
オレ
ちぃをなんだと思えば
いいんだ……？

ハイムは
四季から
ち、
逃れないようだ
行く
書店

すこしずつ
～だれもいない町～


ナタがアタシを
ここへつれてきた
ちょっと
時間が
こっち
ナタは
アタシといっしょに
いたくない
ドアにいろんなこと
アタシをおこってくる
いて
それをアタシが
話してあげれる
アタシを
いっしょに
れていってくれる
アタシのものは
アタシの好きなよう
すればいいと
ナタはいう
アタシは
ナタの


ナタとアタシの
カンがながれる
ここしばらく
ここが
ナタとアタシの
ブクロになる
すこしずつ
キョリがちぢまってるの
それともちがいそろの
かがやく



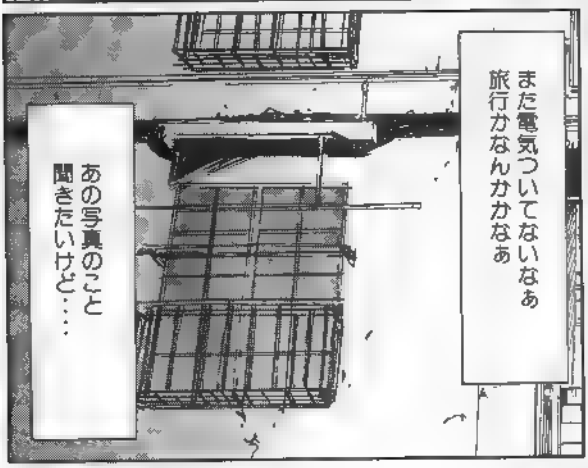
◀chapter.39▶end

ちょびっツ

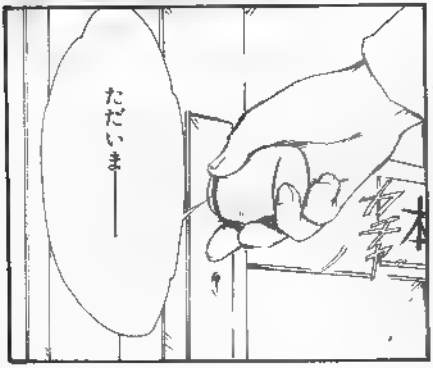
Chobits

◀chapter.40▶

管理人さんの
部屋


また電気ついてないなぁ
旅行かなんかかなぁ
あの写真のこと
聞きたいけど…

とんとん
もし
いたずらだったら
気にしちまうかなぁ
日比谷さん


ただいま——

ん？
ちぃ？
バイト
とっくに
終わってる
時間だぞ
電話でーす！
電話でーす！

そうだ 修君に渡かって
部屋に投かってそた電話
この子と転送できるように
しといたんだった
つないでくれ
あい！
夜分に申し訳ありません
本須和さんのお宅
でしょうが
植田店長！
あの
ちぃなんですけど！
何か
あったんですか？
ちぃちゃん
今日 来なかったんで
心配してたんです

え!?
ちぃ そっち 行ってないんですか!?
え!?
いないんですか そっちに!
すみません 店長! またかけます!!

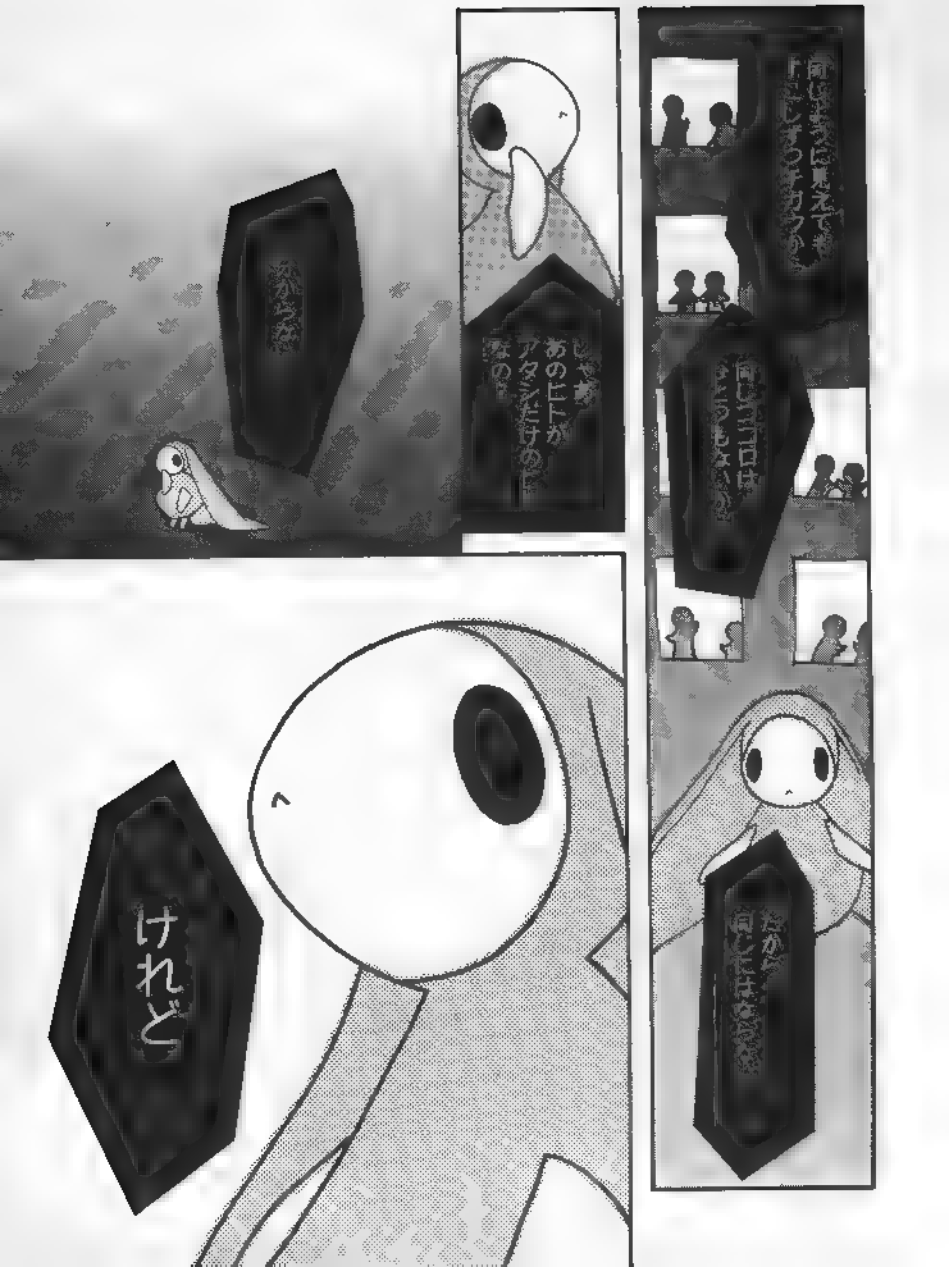
本須和君!?
本須和君!?

CLOSED
ちぃちゃん
大丈夫なのかな

CLOSED

どこ
行ったんだ
ちぃ
最近 いっぱいしゃべれるようになって
色々覚え始めたけど
でも まだどっかズレまくってるし
なんか変なことに
巻き込まれたりしてなきゃいいけど
アタシの村のヒト
…どこにもいねぇな
アパートのまわりと大きな街を行ったとう
せん回ったのに
どんなに探しても
すぎとは
マスターの様を
放しませんでした
です——!

まさか
あの画像を
送ってきたやつに
なんかされたとかじゃ
ねえだろうな
山谷書店
叶えられないユメ


同じ考えは
「ふしぎ」カラ
同じココロは
ひとつもないの
たから
同じにけれど
じゃあ
あのヒトが
アタシだけの
なの
分からな
けれど

アタシは
そうだといいな
思い始めている
あのヒトが
つれてきてくれた
シアワセを見つけ
られればいいな
思い始めている
ど

ぎゃ
シャマルが
来る
アタシが
アタシだけの
見つけるのを
シャマルに来る
なんだ
これ！
この絵本って
パソコン全体のこと
っていうより
オレとちぃのこと
みたいじゃねぇか！
ちょっと…
前に この絵本
買ってくれた人
だよね
パソコンと
は はい！

◀chapter.40▶end

ちょびっツ
Chobits

◀chapter.41▶

また
駄目だ
あの画像の
送り主を
何度辿っても
途中で
行き止まりになる
よっぽど うまく
やってるんだな

申し訳
ありません
何が？
私のマシンパワーが
足りないせいで
お役に立てなくて
柚姫のせいじゃないよ
カタン
単にぼくが未熟なだけで
でも・・・
私は稔様のお役に立つように作られたのに
言いつけて頂いたことを出来ないなんて・・・

稔様・・？
役に立ってるよ 柚姫は
立ち過ぎて
困ってるくらいだ
稔様・・・
ぎゅ

…柚姫
稔様が悲しいとき
いつもこうして
差し上げていたんですよね
お姉様は

前のメンテナンスから
新しいお姉様のデータを
更新していません
もっと稔様のお姉様に
近づけるように
私に入力してください
お姉様のことを
・・・もう
やめようと
思うんだ
・・・え？
姉さんのデータを
柚姫に入れるの
リノ・・・・

お電話です
本須和様から
…つないで
ちぃがいなくなった！

…真面目な話みたいだね

いなくなったんだ！急に！

手がかりないの？
あちこち捜したんだよねもう

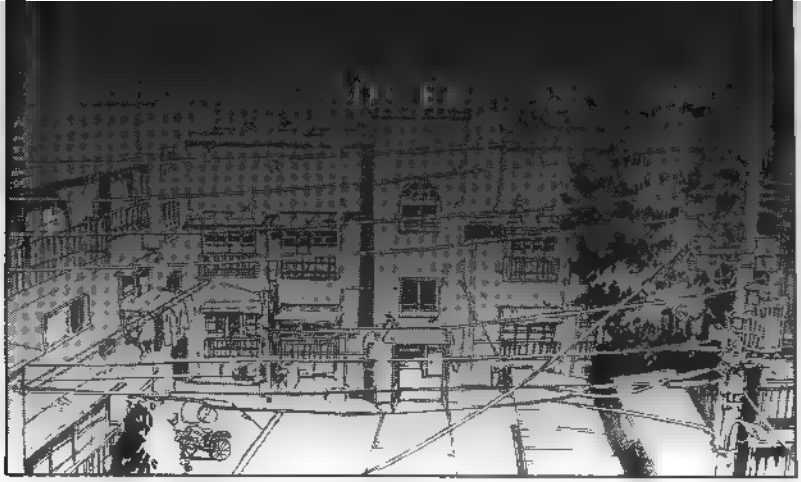
今どこ？
そっちに行くよ

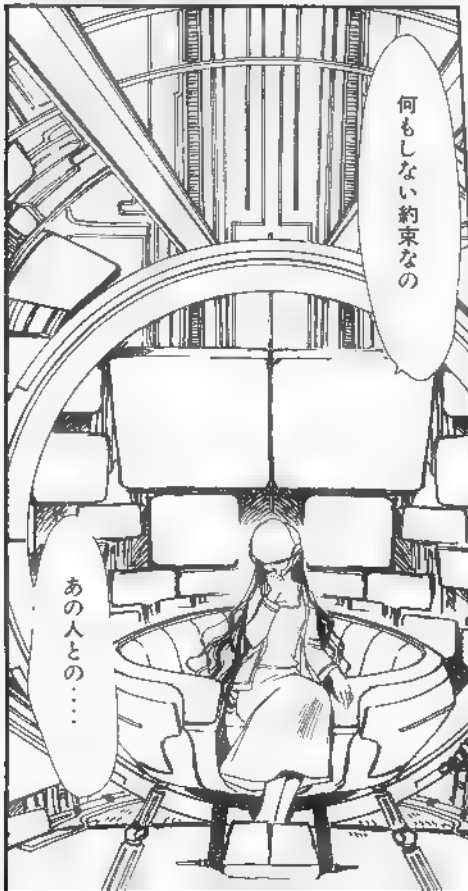
分かった
じゃいつものとこで
通話終了しました

出掛ける
ちょっと調べなきゃ
いけないことが
出来るかもしれないから
一緒に来てくれる？
はい
柚姫は
ぼくと出掛けるとき
いつも そうやって
笑うんだね
稔様のお側に
いられますから

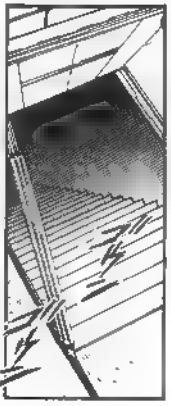
行こう
はい

通話終了
しまった
どこ 行ったんだろ
ちい
本屋さんは
ちいが
いなくなったとき
アヤシイ奴とか
見てないって言うし
とにかく
捜さないと
行くぞ
すもも！
あい！




何もしない約束なの
あの人との……

ちぃちゃん……
……ごめんなさい



こりゃ
妙な展開に
なって来たなぁ

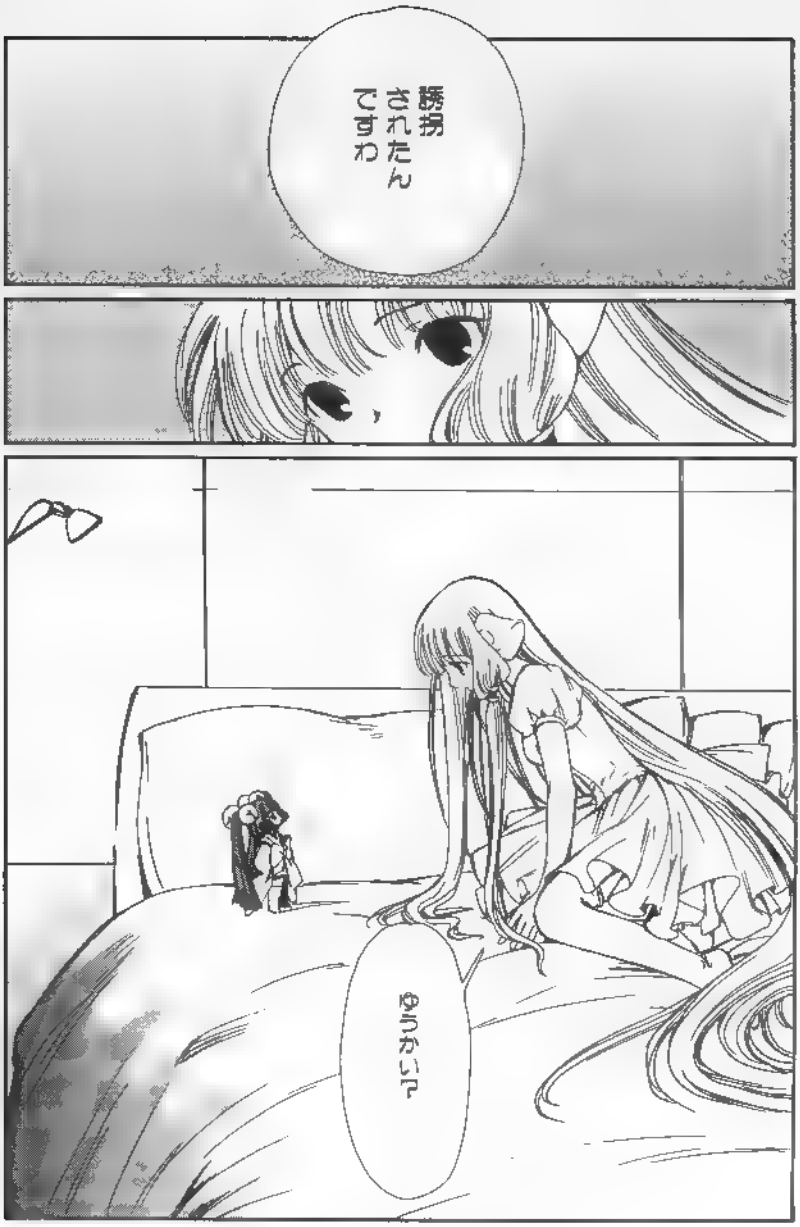
chapter.41 end

ちょびっツ

Chobits

◀chapter.42▶

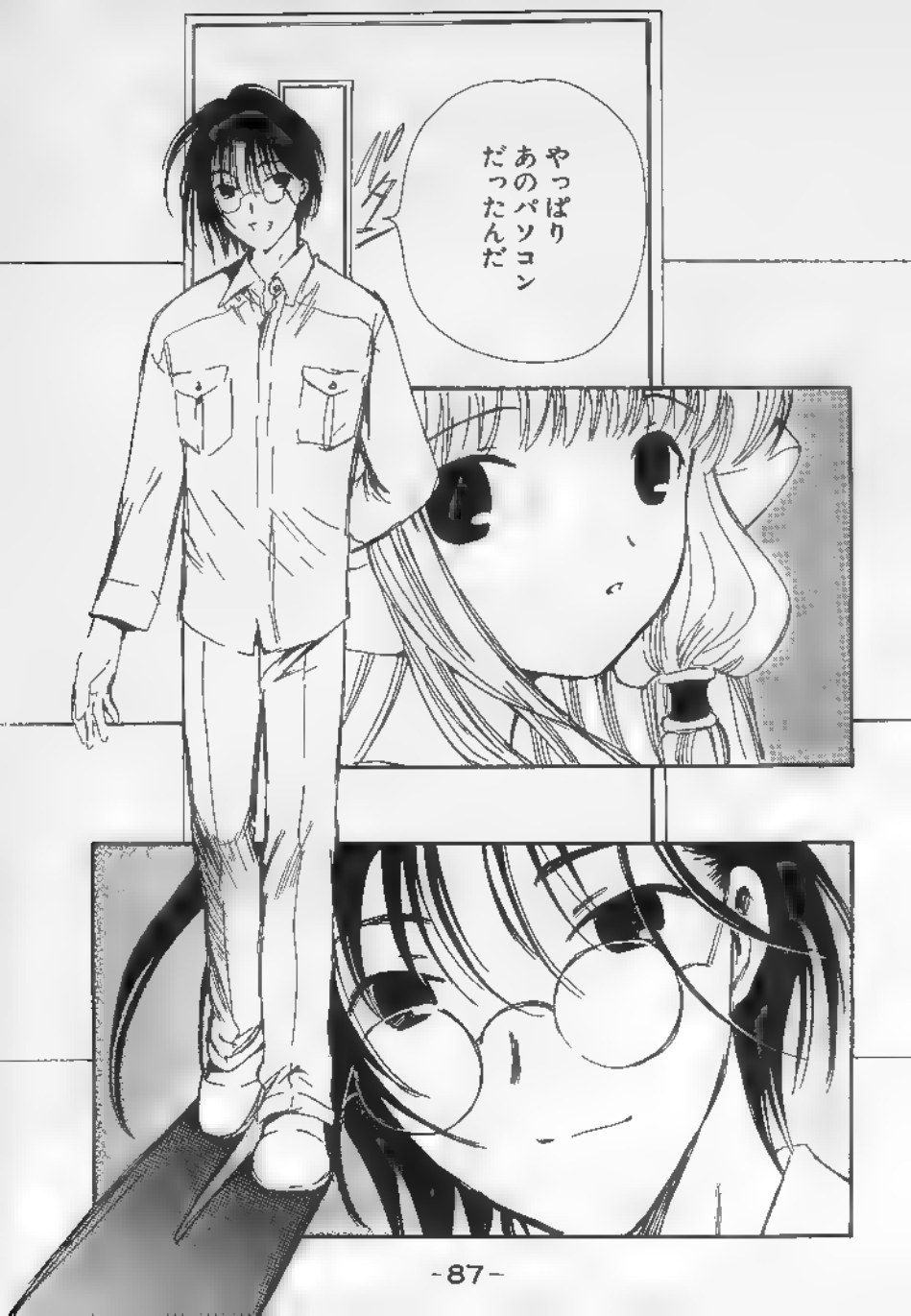
ここ
ち、知らないとこ
秀樹の部屋じゃない
ち、どうしてここにいるの


誘拐されたんですわ
ゆうかいア

さらわれた？
そう
さらわれたんです
拉致られたんです
それ
たべもの？
いきもの？
ぷるるっ
・・それは
ボケとツッコミでいう
ところのボケですか
あっ

ボケ？
それは
いいことか
悪いことか
？
？
？
ほんとうに何も
わかってらっしゃらない
のですね
ちい わからないこと
いっぱい
だから 色々
秀樹に
教わっている
ひでき？

秀樹はちいを
拾ってくれた
秀樹の部屋に
連れていってくれた
秀樹はちいに
色々 教えてくれる
カチャ


やっぱり
あのパソコン
だったんだ

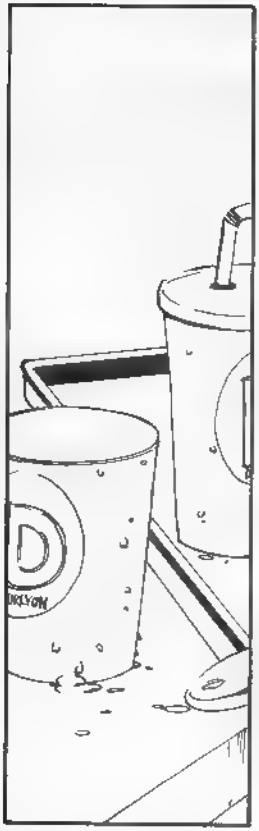
D
DUKLYON
何時かな
今
9時16分
20秒です
かなり遠くまで
捜しに
行ったんだな
本須和さん
本須和さんのアパートから
ここ近いんだけど
後より遅いってことは
いらっしゃい
ました
必死って
感じだな
本当に心配
なさっているん
ですね
ちぃさんを
本須和さん
いいヤツだから

はい

んっくんっ
ごろごろ
んっくんっ

すべては他とか
瀬血道撃さ
きめられました

あ…ありがと——
ごめんな！
ぴぴー
いやいや



本題に入ろう
ちぃさんのこと
心あたり全部
捜したんだろ
つっても オレの
アパートのまわりと
バイト先と
近所くらいだけど
一応 ここに来るまえに
柚姫(ユズ)に
ネット上 検索して
もらったんだけど
めぼしい
情報は
なかったよ
なんか
事故に
巻き込まれた
とかじゃないと
いいんだけど
ちぃ
あとは…

あの画像メールの
関係かもしれないな

お話し中
申し訳ありません
本須和様
稔様
なに？ 柚姫
私がこの件に関して
お話ししても
ご迷惑では
ないでしょうか
なんか
気づいたこと
あったら
教えて欲しい
です！
コク
画像メールの送信者が
関係しているというのも
もちろん考えられると
思うんですが

◀chapter.42▶end

ちょびっツ

Chobits

chapter.43

小島良由起
だれ？
こじまよしゆき
そう良由起でいいよ

ここ
どこ？
俺の部屋
よしゆきの部屋
そう

さっきコンが…
コンとは何です！　失礼です！
私にはちゃんと名前がありますわ！
ギュッ

名前なに？
ぜ…！

ナニ…！

ピッ
私の名前は
夢子
です わ
だから
コレではない と
書って いますの に——
ねっちゅう確認
うキャー!
ち、覚えた
コン
夢子
夢子

あなたは
本当にまだ
何も分かって
ないんだね
おい
ここに
ゆうかい
されてきた?
誘拐か——
まぁ
そうだね
どうして?
君が欲しかったから
かな

ちぃが
欲しい？
サイトで君のこと書いた
書き込み見た時から
考えてたんだよ
あの「M」が
わざわざBBSで
尋ねるくらいの
パソコンだから
何かあるなって
耳部分の
接続端子は
上が白で
下がピンク
髪は長くて
アイボリーっぽくて
目は薄茶色
外見年■は十五、六歳
女の子型

本屋で見掛けて
すぐ分かったよ
君があの
パソコンだって
君を
作ったのは
誰なのかな
ちぃ
分からない
…みたいだね
『M』の書き込みにも
記憶が初期化
されてるらしいって
書いてあったよ

君を拾った人は
君のことちゃんと調べた？
調べる？
スペックとかCPUとか
秀樹
調べない
パソコンのことよく分からないって
ふるふる
なるほどね

君が特殊なパソコンだったら
一人で出歩かせるわけないから
会うのは無理かと
思ってたんだよ
それなのに『M』が書いた
特徴そのままのパソコンが
本屋にいて驚いた
君を拾った人は
君の価値が
よく分かってないんだね

ちいの自慢だ
君がこのベッドで
休止してる間に
ちょっと調べさせて
もらったよ
こっちの
テスト用パソコンが
いかれた
君は特別な
パソコンだ

本当に
『Chobits』シリーズなのかも
しれない

ちぃが
『ロロロ』…？
まるで犬か猫につける名前だな——
あはは
ちぃ
ちぃはちぃ
秀樹がつけてくれた名前
どうしてちぃ？
ちぃ最初ちぃしか言えなかったから

君を拾った人も
もうちょっと考えて
名前つけてあげれば
いいのに
でも・・・
君が
なんなのか
僕が調べて
あげるよ
何か
必要なものがあったら
零子に言ってくれれば
いいから

じゃ
またあとで
でも……
「ちい」は
秀樹がつけてくれた
ちいに
つけてくれた

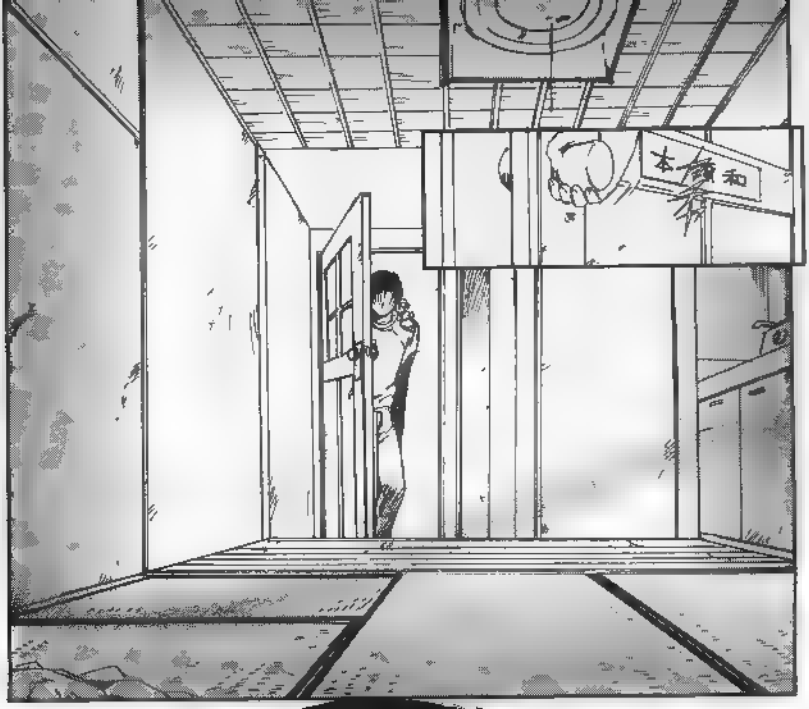
chapter.43 end

ちょびっツ

Chobits

◀chapter.44▶

比谷
ピピッ
…ごめんなさい
本須和さん
でも…
これは
いい機会なのかも
しれないわ
本須和さんにとっても
ちぃちゃんにとっても


本

やっぱ
帰ってきてないか
稔君に
注意されてたのに…
一人でバイト
行かせるんじゃ
なかった
ちゃんと「チロル」まで
連れてって
やってれば…

ちぃ……
前にも
あったよな
こういうこと
オレが
帰ってきたら
ちぃいなくて
あの時は
ちぃ
バイト探しに
行ってたんだ
オレに
金渡したいって

ちぃは
可愛い

すごく
可愛い

あんな可愛いちぃを手放すなんて
どんな事情があったんだろう
やっぱり
前の持ち主
死んだのかな
それで
あんな場所に
捨てられてたのかな
死んじゃやだ
…ちぃ

ぽろっ
酷い目にあってんじゃねぇだろうな

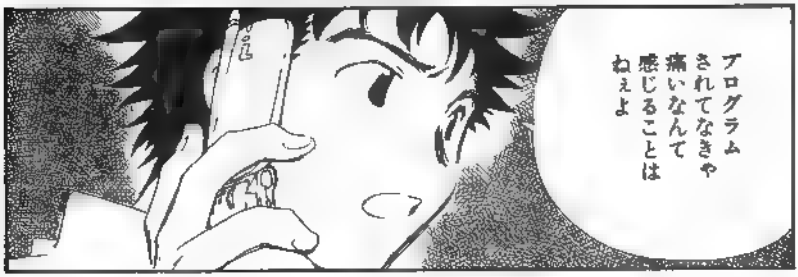
電話でーす！
電話でーす！
つないでくれ
あいー
おっす——
生きてっか——本須和——
新保!?

今さっき
こっち帰ってきたんだよ
いや――
やっと多香子(かこ)
OKしてくれて・・
パソコンって
痛いとか感じるのか!?
・・・・あ?

酷いことされたら
痛いとか 辛いとか
感じるのか!?

人の趣味に
とやかく言う
つもりはねぇけど
そういう
プレイの趣味
あったのか
おまえ
ちが――
――う!!

なるほど
そういう
ことか


プログラム
されてなきゃ
痛いなんて
感じることは
ねぇよ

けど 前に
胸が痛いっつってたんだよ
ってことは体も痛いかも
しれないだろ!?
まあ確かに
そういうことも
あるかもな
けど あのパソコンに
何が入ってんのかは
分かんねぇんだろ
まだ
ああ
だったら
パソコン自身に
聞いてみないと
分かんねえよ
だから
そのちぃがいないん
だって――!

あのさ
本須和
おまえ
すっげ——
あのパソコンのこと
心配してるみたいだけどな
もし パソコンに
痛感がプログラム
されてても
ハードディスクとか記憶媒体から
痛い思いしたことを削除すれば
なかったことになっちまうんだぜ

…それでも
心配か？

◀chapter.44▶end

ちょびっツ

Chobits

◀chapter.45▶

あのヒトは
やさしい
こんなヒトにも
こんなアレにでも
きっと
やさしく
そう
あのヒトは
やさしい
きっと
アタシにだけ
ない
でも
みんな
やさしいヒトでも
そのやさしさは
すこしずつ
チガウはず
みんなに
同じように
やさしくは
出来ない
あのヒトは
ヒト
こか

ヒトのココロは
いつも同じではいられない

ヒトのココロは
毎日すこしずつ
変わる

それが
ヒトだから

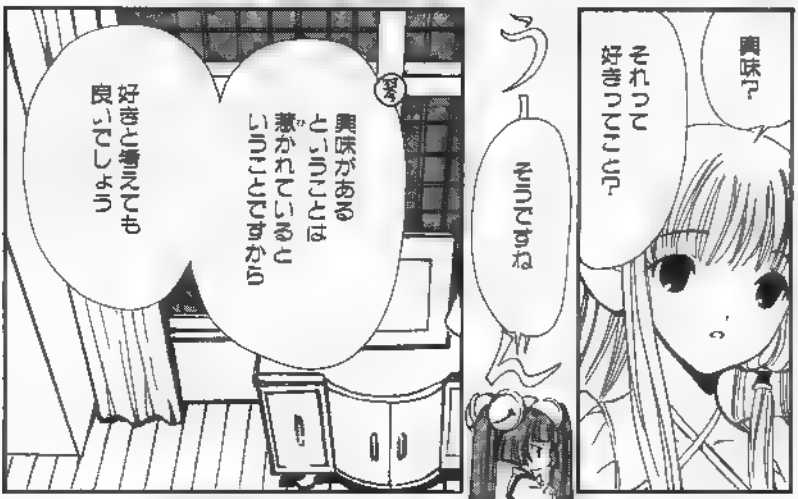
そんなもの

いつも同じじゃつまらない

……ごくごく
チガウとこロ……
こんな状況で
よく
絵本なんか
読んでいられ
ますわね
やっぱりあなたは
ボケキラセさまね
夢子(ゆめこ)には
いる?
はア

琴子の
まかの誰かと
チガウところを
見付けてくれるヒト
琴子が
琴子だから
好きでいてくれる
ヒト
マスターはとりあえず
ほかの誰かと
違うところを
探すのだけだったら
得意ですわ
でも
私が好きかは
別です
む
ち?

前は
好きだったかも
知れませんが
少なくとも今は
興味の対象は別に
移ったようです


興味？
それって
好きってこと？
うー
そうですね
興味があるということは
憑かれているということですから
好きと考えても
良いでしょう

誰？
あなたです
ぴと

よっゆき
前は夢子が好きだったのに
今は
ほかの誰かが好きなの？
そのようですわ
こくり

あいつ
どうしてる？
あなたが「CLOCK-UP」かもしれないからです
「CLOCK-UP」ってなぁに？
正確にそれに答えられる人もパソコンもいませんわね
「CLOCK-UP」シリーズは実在するかどうかも分からない特別なパソコンですから

特別……
さっき よしゆきも ■ってた
特別って どう いうことか？
私の中にある国語辞典を 参照するならば
1：普通、一般とは同じ扱いが出来ないこと
2：例外的なもの
3：そのために■けられたもの
ですね
それって ほかのとちがう ってことか？
端的に言えば そうです

よしゆきはちぃの
ほかとちがうとこを
見つけるの？
でしょうね
そのために
連れて来たん
でっしょうから
拉致監禁
してぶ
でも
ちぃは秀樹に……
ひできとは
あなたを
拾った人
ですね
そう

ひできという人は
良い人なんですね

尋子
どうして
分かる？

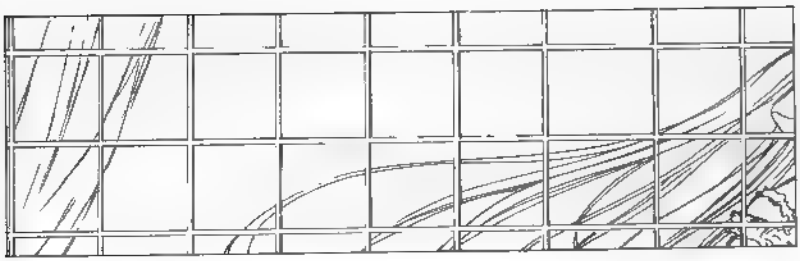
あなたがひできさんの
話をしている時の様子を
見れば分かりますわ

秀樹
おっにすごく
優しい

ちい
秀樹が喜んでくれると
笑顔っていうのこなる

琴子はよしゆきのパソコン?
そうですわマスターが自作したものですから
琴子すももと同じくらいの大きさ
ぽろ
なぜ、わたしの頭の上に手を置くのですかっ
なんですかそのすももとは!?
すももは秀樹の友達のノートパソコン
今は秀樹の部屋にいる
私はモバイルパソコンのサイズで人型パソコンと同程度の性能を持っています!!
それっていいことですか悪いことですか
少なくともマスターには良いことだったようですね

けれど
興味は
新たな展開や
刺激がなければ
持続は難しいものです
人間はより強く新鮮な
刺激や楽しみを追う性質が
ありますから
今
マスターの興味が
あなたに向かって
いるように
それは あなたの
マスター である
ひでき さんも
同じでしょう



ちょびっツ
Chobits

◀chapter.46▶

ありがとう
ございました
こんばんは
本須和君！

ちぃちゃん
見付かり
ました!?
ろろろ
すみません
無理言って
バイトさせて
もらったのに……
謝らないで
ください
ちぃちゃん 来てくれて
本当に助かったん
ですから
それより……
ちぃちゃん
前のこと 全然
覚えてないって
言ってましたよね
……はい

知り合いもいないだろうしどうしたんでしょうか
そ
一緒に捜します

え!?
でも…!
店も終わりだし商店街の人たちにも何か聞けるかもしれません
ぱたぱた
ちょっと待っててくださいね

秀樹！
ちぃ……

CLOSED
本須和さんと……店長……

この近くは
捜したんですよね
もう
はい
ちぃちゃんが
いなくなったのは
うちにバイトに
来てくれる予定だった
日だから
とりあえず
『チロル』から順に
商店街の人たちに
聞いてみましょう

ごめんね
役に立てなくて
いえ
とんでもないです
なんか変なとこで
役に立つたな
この写真

髪の長い
パソコンねぇ
あたしは
見てないけど
ほかの人たちには
聞いた？

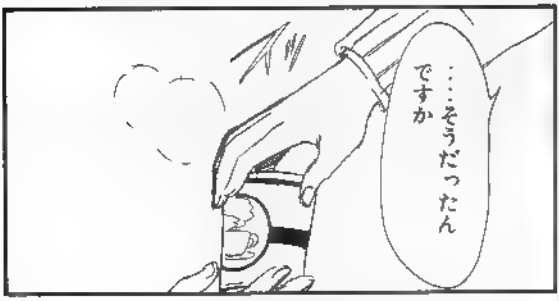
商店街の
人たちには
今日来てないバイトの子とかが
知ってるかもしれないねぇ

商店街の連絡網があるからパソコン使って聞いてみたら？
あ！
植田さんはパソコン持たないんだったわね
ええ……
じゃあたしが回しとくよ
何か分かったら連絡するから
よろしくお願いします

連絡網で
何か分かると
いいんですが……
ばたばた
すみません
付き合わせ
ちゃって……
友ばっ
気にしないで
ください
ちぃちゃん
早く捜さないと
心配でしょう
どうか
しましたか？
心配です
でも……
オレが心配しても
ちぃは
どうなんでしょうか

不安だと
思いますよ
ちぃちゃん
あんなに
本須和君に
懐いてたから・・
でも・・・・
どんなに不安でも
ハードディスクとか
いうのから消せば
なかったことになるって
・・・本須和君・・

ぽん
どこかで
ゆっくり
話しませんか？
あったかいもの
飲みながら


…そうだったんですか

新保に
そう言われて…
オレ…
どうしていいか
分からなくなって…
ちぃ
早く見付けてやりたいし
イヤな思いしてないか
すっごい心配だけど…
ちぃは
どうなんだろう
って…

ちぃ
前の
持ち主が
いたみたい
なんですけど
きれいに
忘れてて
…

ちぃは
確かに
パソコンで
ちぃの記憶は
消せば
消えちまう
もんで…

すみません
なんか混乱してて!
自分でも
何が何だか
分かんなくて!
ぐしゃぐしゃ

…分かりますよ
え？
僕も本須和君と
似たようなことで
混乱したことが
ありましたから
…店長も？
僕ね
前に
結婚してたことが
あるんですよ
…パソコンと

ちょびっツ
Chobits

chapter.47

結婚って……
あの……
事実婚ってやつです
入ってなかったんですけどね
そんなこと出来るんですか!?
法的に結婚することはまだ無理なんですけどね
自分の死後の財産とか保険金の受取人に指定は出来るんですよパソコンでも

遺産の相続人を
猫とか犬とかにしてる人も
いるでしょう
あれと同じです
で・でも
パソコンは・・・・
機械です

でも
人によっては
ただの家電以上の
存在なんですよ

僕にとって
彼女も
そうでした
彼女を
電気屋さんで
見付けたのは
「チロル」が
完成した日
でした
「チロル」は僕が大学を出て
お菓子の勉強を始めて
十年経って持てた店
なんですよ
もう七年も前のこと
ですけどね
あれ?!
大学出て
十年で
七年前って・・・
店長 今
いくつですか?
今年で
39歳ですけど
えええ
えええ
ええ!?

童顔
なんですよ
今も20代くらいによく間違われます
オレもう26歳だと思ってました――
ラッカ
店が出来た時
本当に嬉しくて
これからこの近所の皆さんに
美味しいケーキを食べて
もらえるように頑張ろうって
店の看板に誓いましたよ
でも
あの…
ケーキの分量とかは
大丈夫なんですが
接客しながら
やると
あせるんでしょう
僕は…計算があまり…
し…
知ってます
得意じゃ
ないんすよね
オレがバイトしてた時も 店長
しょっちゅう計算間違えてたし

前に修業させてもらってたお店でもよくそれで失敗してて…
だから自分の店ではそんなことにならないようにしようと思って
それで パソコンを買いに行ったんですよ
電気屋さんには色んなパソコンが並んでいました
でも僕にはパソコンの知識なんて全然ないからどれがいいか分からなくて
お店の人が最新式の子を薦めてくれるんだけどどの子もきれいだけど見分けがつかなくて…
で…
彼女を見付けたんです

お店の端のほうに
特売の札 付けられてて
少し髪にホコリが積もってて
お店の人に聞いたら
確かに安いけど
もう三年も前ので
型遅れで
マシンパワーもないし
インターフェースも
良くないから
初心者には難しいって
言われました
SEAL
BARGAIN
お店には古い子は
彼女しかいなくて
この子はこのまま
ずっとここにいるんですか
って聞いたら
「場所もとるし
倉庫もいっぱいだし
そろそろ
廃棄しようかと
思ってるんですよ」
って言われて……

気が付いたら……
彼女を買って
帰ってました
店に帰って
マニュアルとにらめっこして
何とか起動させて
そしたら彼女
笑って
こんにちは

って言ってくれたんです
思えば一目惚れだったのかもしれませんね
変ですよね
いい歳した大人がパソコンに一目惚れなんて
変じゃないです！
全然変じゃないです!!

…それから
彼女のために制服を作って
パソコンの
ソフトっていうのとかを買って
店の会計ができるようにして
大変だったですけど
楽しかったですよ
毎日
彼女はいつも
笑ってて元気で
いやなことがあったら
なぐさめてくれて
いいことがあったら
一緒に喜んでくれて
気が付いたら
本気で好きになって
いたんです
パソコンである彼女を

彼女が好きで
彼女とずっと
一緒にいたい
と思いました
そういう時は
プロポーズ
するでしょう?
で…
すかね
加奈子
オレまだ結婚ないぞ

だから
したんですよ
彼女に
彼女は頷いて
くれました
いつもの笑顔で
嬉しそうに

あの まわりの人
反対しなかったん
ですか?
うち
父も母も
他界してるんで
そ そうだったんですね
すみません

すぐ弁護士さんに
頼んで手続きして…

でも 当時はまだ
パソコンを相続人にする人が
あまりいなかったから
記事になったり
しましたね
商店街の人達にも
随分ひやかされ
ましたし
ウエディングドレスも
用意して
小さなレストランで
しましたよ
結婚式
6月に
法的には
何の拘束力もなくても
指輪を買って
それぞれの
左手のくすり指に
はめて
きっと
ばかだって思った人も
いたと思うけど
僕は
幸せだったんです
彼女と一緒に
いられて
彼女が笑っていて
くれさえすれば

◀chapter.47▶end

ちょびっツ
Chobits

◀chapter.48▶

…兆しって
忘れ始めたんですよ
少しずつ
色んなことを
最初は僕の
思い違いかなと
思っていたんですけど
昨日のことが
思い出せなかったり
店にしまってある
材料の場所を
間違えたり
それが
どんどん
酷くなって
ついさっき
お客さんに注文された
ケーキの種類も
忘れてしまうように
なって…

色々 本を
読んでみて
何とか
直そうとしたん
ですけど
僕では
分からなくて
で
電気屋さんに
連れて行ったら
「ハードディスクの故障と
あとCPUに負荷が
かかりすぎてる ほかにも
ガタがきてますよ」
って
言われて
直して
欲しいって
お願いしたら
「ハードディスクの
入れ替えになるけど
彼女は型が古くて
うまく記録を全部
新しいディスクに
入れ替えられないかも
しれない」って
それって
どういうことかって
聞いたら

「起動してからのデータが
なくなるんですよ」って…
それって記憶を失うって
ことですよね
そんなの彼女が
かわいそうです
って言ったら
電気屋さんはね
「大丈夫ですよ
悲しいとか
辛いなんてこと
全然感じませんよ
ぜーんぶ きれいに
忘れてますから」

彼女が僕とのことを
全部 忘れてしまうなんて
そんなこと絶対いやだったから
他の店の人にも
みてもらったんですけど
やっぱり同じで・・
・そのまま彼女を
連れて帰ったんです
でも 彼女は
もっと酷い状態になって
ほんの数秒前のことも
もう忘れてしまうように
なって・・・

僕を見て
言うんですよ
こんにちは
あなた
誰ですか?

それでも僕は 彼女を
修理に出せなかった
ほんの少しでも
時々でしか
なくても
僕のことを
覚えていてくれる
彼女の記憶を
全部
なかったことになんて
出来なかったんです
でも
それから
しばらく経った
雨の日に……
彼女と
買い物に
出たんですよ
その頃には
彼女はもう
日常生活も
難しいような
状態で……
目を離すと何をするのか
分からなくて
一緒に出かけたんです

僕は彼女のことを
考えていて……
ずっと眠れてなくて……
ぼうっとしてたんでしょうね
車にひかれそうになって……
もう少しで本当に車とぶつかるって時に
彼女が飛び出して来て……僕の代わりに車に……

彼女に駆け寄って
…抱き上げたら……
もう
ぼろぼろなのに……
それでも
笑顔で……
こんにちは……
きっと もう
車にぶつかると
危ないとか……
そういうことも
分からなくなって
いたんでしょう
けど…
でも…僕には
彼女が僕を
助けてくれたように
思えたんです

変ですよね
もう彼女には
何も分かって
なかったのに……
変じゃないです
オレも
その子が店長を
助けてくれたんだと
思います
……
ありがとう

事故のあと
すぐ買ったお店に連れて
行ったんですけど・・・
お店の人に
「完全に壊れてて
もう起動出来ませんよ
ボディも
メチャクチャだし
この外見が好みなら
同じ型番のを
取り寄せますか？」
って言われて・・・・
僕にとって
彼女は
彼女で
たとえ
同じ外見でも
それは
彼女じゃ
なくて・・・・

彼女は
パソコンで
生きてない
ものだけど
僕にとっては
この日
彼女は
死んだんです
彼女の亡骸を
引きとって
お葬式をして・・・
彼女はもう
何も覚え
られないし
何も
感じないかも
しれないけど・・・

僕は
覚えています
彼女のこと
彼女の顔も
声も しぐさも
楽しかったことも
辛かったことも
忘れるなんて
出来ない
本須和君も
そうでしょう?
たとえ ちぃちゃんが覚えていなくても
君は覚えているでしょう?
ちぃちゃんが辛い思いをしたら
忘れられないでしょう?
はい……

chapter.48 end

to next

◂ CLAMP ▸